

一般財団法人 日本文化興隆財団
平成25年度事業報告書
自平成25年7月1日 至平成26年6月30日

実施事業（公益目的事業）

1、日本の伝統精神と文化を伝える事業（継続事業1）

①田んぼ学校

日本の伝統精神、文化と切り離すことが出来ない「米作り」を体験して学ぶ「田んぼ学校」を継続開催した。同学校では稲作体験はもとより、米の歴史や信仰、植物学的な面からもアプローチする米の総合学習をおこなっている。

25年度は平成25年10月6日に稲刈り、平成26年6月22日に田植えを行った。

《会場》埼玉県熊谷市・古宮神社及び近接圃場

《主催》日本文化興隆財団

《協力》古宮神社

《日程》第7回田んぼ学校（稲刈り）平成25年10月6日（日）

第8回田んぼ学校（田植え）平成26年6月22日（日）

※稲刈りは平成26年10月5日（日）を予定。※平成26年度事業

《参加費》大人8,000円 小人5,000円

《対象》中学生以下の子供とその保護者

《参加者》各回約100人

②第9回日本文化再発見セミナー

「本居宣長を学ぶー『菅笠日記』と奈良の社寺ー」

平成25年度は、本居宣長の『菅笠日記』をテーマにその行程を追体験しながら宣長像を探求し、その行程にある神社仏閣を巡りながら、創建された時代背景や精神文化の違いを比較することを目的に開催した。

《場所》本居宣長記念館・談山神社・吉野水分神社・後醍醐天皇陵・吉水神社・金峯山寺・大神神社

《企画》日本文化興隆財団・日本国際文化協会

《日程》平成26年3月16日（日）～18日（火）2泊3日

《参加費》69,800円

《講師》加藤健司氏（鶴岡八幡宮教学研究所長）

《対象》一般（社会人対象）

《参加者》29人

③古事記に親しむ

『古事記』原文の素読を中心に構成したセミナーを開催。上巻素読コースと中・下巻素読コースの2講座を毎月開催している。同講座の参考書として出版している素読CD付書籍『ことばで聞く古事記』も平成26年1月に下巻が完成し全3巻が完結した。

《会場》日本文化興隆財団研修室

《主催》日本文化興隆財団

《講師》佐久間靖之氏（古事記に親しむ会主宰）

《日程》上巻素読コース 全12回／平成25年10月～平成26年9月

中下巻素読コース全24回／平成25年10月～平成27年11月

（平成26年11・12月は研修室改修工事のため休講）

各月1回開催

《対象》一般社会人

《会費》一回500円

《参加者》各約 20 名

《参考書》『ことばで聞く古事記』素読 CD 付

素読：高清水有子 編集：佐久間靖之

発行：(株)青林堂 企画：日本文化興隆財団

上・中・下巻各 2,800 円税別

④大祓詞のころ（全 11 回）

一般を対象に大祓詞の解釈を中心に、日本人が生み出した「祓」の精神を学ぶ講座を開催した。

《主 催》日本文化興隆財団

《講 師》小野善一郎氏（東京・湯島天満宮権禰宜）

《日 程》平成 26 年 2 月～平成 27 年 2 月各月 1 回開催

（平成 26 年 11・12 月は研修室改修工事のため休講）

《会 場》日本文化興隆財団研修室

《対 象》一般（社会人対象）

《会 費》一回 1,000 円

《参加者》各回約 80 人

⑤伝統文化セミナー基礎講座

神社本庁広報センターと共催して「伝統文化セミナー基礎講座」を主にマスコミ関係者に神道の基礎知識を学んでいただくことを目的に全 2 回開催した。

《主 催》神社本庁広報センター

《共 催》日本文化興隆財団

《講 師》茂木貞純氏（國學院大學神道文化学部教授）

加藤健司氏（鶴岡八幡宮教学研究所長）

《日 程》平成 26 年 5 月 27 日「年中行事の由来と意義」

平成 26 年 6 月 26 日「神事における芸能」

《会 場》日本文化興隆財団研修室及び神社本庁地下一階会議室

《対 象》一般（マスコミ関係者）

《会 費》一回 500 円（茶菓子付）

《参加者》各回約 30 人

⑥日本の神話伝承館の運営

同施設は公益事業として無料公開を継続してきたが、来館者数が平成 17 年の開館以降、極めて僅かという状況から、「日本の神話伝承館運営に関する検討委員会」を設置し、審議の結果、展示絵画は、公益的に広く活用するため、神社など多くの拝観者が見込める場所を公募することが決まった。同館は、平成 26 年 9 月 30 日を以て閉館し、当財団の設立目的に沿った施設へ改修する。

2、国旗小旗の無償頒布を通じた国旗啓発事業（継続事業 3）

国旗小旗無償頒布事業

当財団の公益事業の柱として、毎年全国の敬神婦人会のボランティアによる協力を得て、約 10 万本の奉製を戴き、国旗啓発事業として無償頒布を行っている。

平成 25 年度は 64 団体より 106,300 本を奉製戴き、35 団体に対し 102,452 本を無償提供した。

他、有償頒布では 24,600 本を利用いただいている。※前年度在庫含む

国旗小旗助成申請団体一覧 (平成25年7月～平成26年6月)			
	申請者	頒布行事名	申請本数
1	秋田県神社庁	海フェスタおがー海の祭典2013 in秋田一	5,000
2	長崎日の丸会	第37回全国高等学校総合文化祭及び地方御視察	3,000
3	岡山県神社庁	皇太子殿下下行啓	10,000
4	大分県神社庁	平成25年度 全国高等学校総合体育大会	10,000
5	日本会議山口	「皇太子殿下下行啓」奉迎	1,000
6	長野県神社庁	天皇・皇后両陛下 御奉送迎	5,000
7	日本会議群馬県本部	天皇皇后両陛下草津行幸	2,000
8	日本会議千代田・港支部	港区民まつり	500
9	日本会議東京都本部	第68回国民体育大会開会式にご臨席天皇皇后両陛下の奉迎	300
10	岩手県神社庁	皇太子同妃両殿下お見舞い来県	10,000
11	日本の建国を祝う会	建国記念の日 奉祝記念行事	500
12	日本青年協議会	天皇皇后両陛下のご奉迎(インド)	1,000
13	浜松市建国記念の日奉祝運営委員会	浜松市建国記念の日奉祝式典	1,500
14	日行会(日本のため行動する会)	札幌市主催の平成26年 成人式	5,000
15	小樽市建国記念日奉祝会	第48回建国記念の日奉祝のつどい	750
16	柳井地区建国記念日を祝う会	建国記念日祝賀式典	100
17	静岡県東部建国記念の日奉祝会	建国記念の日奉祝パレード	600
18	牧之原市国旗掲揚推進実行委員会	第8回牧之原市建国記念の日奉祝式典	500
19	日本会議北海道本部	建国記念奉祝道民の集い	800
20	日本会議 福岡	日本の建国をお祝いする集い	1,100
21	日本会議福岡県南支部	日本の建国をお祝いする市民の集い	600
22	宗教法人 明治神宮	天皇皇后両陛下 皇太子殿下御参拝式	2,000
23	頑張れ日本！秋田応援団	「祝祭日には日の丸をあげよう！」運動	2,000
24	兵庫県神社庁	奉迎団	150
25	日本会議新潟県本部	第65回 全国植樹祭(長岡市)	20,000
26	頑張れ日本！秋田応援団	「祝祭日には日の丸をあげよう！」運動	1,250
27	沖縄県祖国復帰記念大会実行委員会	沖縄県祖国復帰42周年記念大会	3,000
28	静岡県神社庁	平成26年度 全国都市緑化祭	4,000
29	一般社団法人 鴨川青年会議所	2014 F I F A ワールドカップブラジル パブリックビューイング	1,000
30	日本会議徳島県本部	第25回「全国みどりの愛護」のつどい皇太子殿下奉迎活動	2,000
31	静岡県神社庁	日本動物園水族館協会総会 秋篠宮殿下御奉迎	3,000
32	日本会議沖縄県本部	天皇皇后両陛下奉迎活動	10,000
33	頑張れ日本！秋田応援団	「祝祭日には日の丸をあげよう！」運動	750
34	宗教法人 霊友会第八支部教会	京都東部青年部つどい	500
35	日本会議 愛知県本部	皇太子殿下下行啓に伴う奉送迎活動	5,000
		(申請申込順)	113,900

3、建国メモリアル ザ・マーチングコンテスト後援事業（継続事業4）

平成26年2月11日に開催された『建国記念の日』奉祝記念行事には、主催団体である日本の建国を祝う会からの要請により、国旗小旗の提供、職員派遣等の助成を行うとともに、「建国メモリアル ザ・マーチングコンテスト」にも後援団体として参画し、助成金の交付及び審査員の派遣をおこなった。

《主催》建国記念の日表参道パレードコンテスト実行委員会

《後援》日本文化興隆財団

《協力》東京都大学吹奏楽部連盟・商店街振興組合原宿表参道櫛会

NPO法人日本鼓笛バンド・フォームバトン連盟

その他事業（収益事業等）

1、季刊誌『皇室 Our Imperial Family』の頒布普及事業（その他事業1）

同財団内の皇室報道協力委員会を通して、季刊誌『皇室 Our Imperial Family』を年4回発行し、平成25年度は通巻59号から62号を刊行した。

購読者の減少に対処するべく、新たな購読者層の獲得を目指すべく、「神社検定」の公式テキストとして指定し、書店での頒布数向上と神社検定受検者層に対し、皇室についての理解促進、皇室祭祀の意義啓発の教化も兼ねた増頒布対策を継続している。

2、物品頒布事業（その他の事業2）

日本文化の興隆に資するために、各種取扱品の頒布に努めた。

例年好評をいただいている『皇室カレンダー』、神社検定関連のテキストなど取扱品目の充実を図った。

《主な頒布品と頒布数》

御真影額	4 1 架	(前年比	- 1 5 架)
教育勅語額	2 4 架	(前年比	- 1 2 架)
教育勅語（浄書）	1 4 枚	(前年比	+ 3 枚)
特製額縁（大）	1 9 架	(前年比	- 1 1 架)
特製額縁（小）	1 0 架	(前年比	- 4 架)
国旗セット	3 1 1 5 組	(前年比	- 1 6 8 7 組)
特選国旗セット	2 組	(前年比	- 1 組)
特注国旗	3 4 枚	(前年比	- 6 枚)
卓上国旗セット（1本立）	3 1 組	(前年比	+ 1 0 組)
卓上国旗セット（2本立）	4 組	(前年比	9 3 組)
皇室カレンダー（壁掛）	4 5 1 5 部	(前年比	- 6 5 3 部)
皇室カレンダー（卓上）	7 5 7 部	(前年比	- 4 1 部)
皇室紹介ビデオ・DVD	1 2 1 本	(前年比	+ 1 0 7 本)
絵本『いただきます』	2 0 2 9 冊	(前年比	- 4 4 2 冊)
絵本『とこわか森』	4 4 2 冊	(前年比	+ 1 0 1 冊)
絵本『もっと輝いて』	5 3 8 冊	(前年比	+ 2 2 7 冊)
絵本『しあわせになる12のヒント』	2 3 3 冊	(前年比	- 5 0 0 冊)
〃 シールなし	6 3 5 冊	(前年比	- 8 2 冊)
皇位継承の危機いまだ去らず	2 冊	(前年比	+ 1 冊)
日本の神話教室	2 4 3 冊	(前年比	- 3 2 8 冊)
御所のお庭	4 冊	(前年比	- 3 冊)
神社検定テキスト『神社のいろは』	1 2 3 冊	(前年比	- 1 8 冊)
神社検定テキスト『神話のおへそ』	8 5 冊	(前年比	- 2 1 9 冊)
神社検定テキスト『神社のいろは続』	1 1 7 冊	(前年比	- 3 1 2 冊)
神社検定テキスト『遷宮のつぼ』	1 1 6 冊	(前年比	- 3 3 7 冊)

神社検定テキスト『日本の祭り』	1 8 6 冊	(前年比	— 冊)
神社検定テキスト『神道要語集宗教編』	1 5 9 冊	(前年比	— 冊)
第 1 回神社検定『問題と解説』	5 9 冊	(前年比	— 2 1 1 冊)
第 2 回神社検定『問題と解説』	8 9 冊	(前年比	— 3 6 7 冊)
神社検定参級早わかり講座 DVD	4 9 7 枚	(前年比	+ 1 3 0 枚)
神道百言	3 6 6 冊	(前年比	— 3 6 7 冊)
続神道百言	3 5 5 冊	(前年比	— 冊)
お伊勢さまを讃えまつる	9 0 冊	(前年比	— 冊)
お伊勢さま百話	8 5 冊	(前年比	— 冊)
日本を元気にする古事記のこころ	5 2 冊	(前年比	+ 2 冊)
あなたを幸せにする大祓詞	9 5 冊	(前年比	+ 2 4 冊)
ことばで聞く古事記 (上)	8 1 冊	(前年比	— 7 1 冊)
ことばで聞く古事記 (中)	7 2 冊	(前年比	+ 1 4 冊)
ことばで聞く古事記 (下)	8 2 冊	(前年比	— 2 6 冊)

3、テナント及び貸会議室の施設運営（その他事業3）

①テナント事業

次の団体がテナントとして入居している。

101 号室	株式会社神社新報社（Books 鎮守の杜）
203 号室	有限会社 TRUTH 設計事務所
204 号室	一般社団法人日本国際文化協会
205 号室	公益社団法人全日本仏教婦人連盟
206 号室	全国神社厚生年金基金

②会議室・研修室の利用

近隣企業から各種研修会、諸会議、展示会等で多く利用され、利用数も年々順調な伸びを示している。平成 25 年度は第 3 会議室を増設し対応した。

《利用件数》298 件（前年比+ 1 0 件）

《利用時間》第一会議室 1,116 時間・第二会議室 745 時間・第三会議室 150 時間

※第三会議室は現在相談役室として使用

4、みんなの鎮守の森植樹祭・企業協力による森林保全活動（その他事業4）

①みんなの鎮守の森植樹祭

都市部の鎮守の森再生を中心に行ってきたが、東日本大震災以降、流失した鎮守の森再生に向けて、東北復興支援の一環として、日本財団、神社本庁協力のもと、被災地において、心のふるさと、地域のコミュニティーの復活を目指す事業として、平成 25 年度は初の福島県での開催を含め、第 5 回~8 回の計 4 箇所の神社にて開催した。

植樹する樹種の調査は、横浜国立大学名誉教授宮脇昭氏の指導により行われ、同氏が推奨される「潜在自然植生の森づくり」に従い行った。

主催：実施神社／共催：日本財団／事業協力：日本文化興隆財団

後援：神社本庁・宮城県神社庁・福島県神社庁

協力：(株)伊藤園

【事業実施神社】

第 1 回 八重垣神社（宮司名：藤波祥子）※平成 23 年度事業

鎮 座 地：宮城県亘理郡山元町高瀬笠野 128

開 催 日：平成 24 年 6 月 24 日（日）

参加者数：約 550 人

植樹本数：3,238 本(21 種)

第2回 吉田浜神明社（宮司名：相原たか子）※平成24年度事業

鎮座地：宮城県亶理郡亶理町吉田字須賀畑 108

開催日：平成24年8月14日（火）

参加者数：約250名

植樹本数：1,118本(21種)

第3回 青巢稲荷神社（宮司名：萩野利邦）※平成24年度事業

鎮座地：宮城県亶理郡山元町山寺字浜 96

開催日：平成25年4月29日（月・昭和の日）

参加者数：約350名

植樹本数：2,448（21種）

第4回 川口神社（宮司名：渡邊光彦）※平成24年度事業

鎮座地：宮城県亶理郡亶理町荒浜字明神西 190-1

開催日：平成25年5月3日（金・憲法記念日）

参加者数：約250名

植樹本数：1,811本(21種)

第5回 鳥海塩神社（宮司名：相原たか子）※平成25年度事業

鎮座地：宮城県亶理郡亶理町長瀨字大橋 199

開催日：平成25年7月7日（日）

参加者数：約550名

植樹本数：2,123本(21種)

第6回 伊去波夜和氣命神社(宮司名：大國龍笙) ※平成25年度事業

鎮座地：宮城県石巻市大宮町 5-45

開催日：平成26年4月6日（日）

参加者数：約350名

植樹本数：3,660本（23種）

第7回 見渡神社（宮司名：高木美郎）※平成25年度事業

鎮座地：福島県いわき市久之浜町大字金ヶ沢字戸ノ入 62

開催日：平成26年4月27日(日)

参加者数：約280名

植樹本数：790本（24種）

第8回 新山神社（宮司名：小田道雄）※平成25年度事業

鎮座地：宮城県石巻市雄勝町上雄勝 3-35

開催日：平成26年5月3日(土・祝)

参加者数：約200名

植樹本数：2,800本

第9回 五十鈴神社（宮司名：千葉秀司）※平成26年度事業

鎮座地：宮城県石巻市雄勝町分浜字分浜 238

開催日：平成26年7月6日（日）

参加者数：約400名

植樹本数：3,330本（23種）

上記計：植樹本数 21,318本、参加者数約 3,180名

②鎮守の森を守る自動販売機の展開

同事業は、植樹祭など鎮守の森を守る運動の展開に資するべく、現在ジャパンビバレッジと伊藤園が参画している。鎮守の森を守る専用自動販売機を全国の神社庁及び神社の協力をいただき、現在計全国70カ所81台が設置されており、一本あたり5円が同事業に寄付され、全額を植樹祭に利用している。（前年比+45台）

鎮守の森を守る自動販売機設置神社等(～平成26年6月30日)

	都道府県	神社名等	台数	設置場所
1	北海道	当別神社	1	北海道石狩郡当別町元町51-12
2	青森県	櫛引八幡宮	1	青森県八戸市八幡字八幡丁3番
3	青森県	弘前八幡宮	1	青森県弘前市八幡町1-1-1
4	岩手県	天照御祖神社	1	岩手県大船渡市盛町字町1-4
5	岩手県	大槌稻荷神社	1	岩手県上閉伊郡大槌町28の140
6	岩手県	御嶽山御嶽神明社	1	岩手県一関市花泉町老松字水沢屋敷161-2
7	岩手県	陸中一宮 駒形神社	2	岩手県奥州市水沢区中上野町1-83
8	宮城県	竹駒神社	1	宮城県岩沼市稲荷町1-1
9	茨城県	大洗磯前神社	1	茨城県東茨城郡大洗町磯浜町6890
10	茨城県	常盤神社	1	茨城県水戸市常盤町1-3-1
11	茨城県	一言主神社	1	茨城県常総市大塚戸町875
12	群馬県	群馬縣護國神社	1	群馬県高崎市乗附町2000
13	群馬県	玉村八幡宮	2	群馬県佐波郡玉村町下新田1
14	埼玉県	大宮氷川神社	2	埼玉県さいたま市大宮区高鼻1-407
15	埼玉県	川口神社	1	埼玉県川口市金山町6-15
16	埼玉県	越谷香取神社	1	埼玉県越谷市大沢3-13-38
17	埼玉県	越谷久伊豆神社	1	埼玉県越谷市越ヶ谷1686-1
18	埼玉県	白岡八幡神社	1	埼玉県南埼玉郡白岡町白岡889
19	埼玉県	秩父神社	1	埼玉県秩父市馬場町1-3
20	埼玉県	鎮守氷川神社	1	埼玉県川口市青木5-18-48
21	埼玉県	鳩ヶ谷氷川神社	1	埼玉県川口市鳩ヶ谷本町1-6-2
22	埼玉県	聖神社	1	埼玉県秩父市黒谷2191
23	埼玉県	三峯神社	2	埼玉県秩父市三峰298-1
24	東京都	熊川神社	1	東京都福生市熊川659
25	東京都	松陰神社	1	東京都世田谷区若林4-35-1
26	東京都	神社本庁	2	東京都渋谷区代々木1-1-2
27	東京都	千住本氷川神社	1	東京都足立区千住3-22
28	東京都	富賀岡八幡宮	1	東京都江東区南砂7-14-18
29	東京都	日本文化興隆財団	2	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-10
30	東京都	小平熊野宮	1	東京都小平市仲町361
31	神奈川県	出雲大社相模分祠	1	神奈川県秦野市平沢1221
32	神奈川県	稲毛神社	1	神奈川県川崎市川崎区宮本町7-7
33	神奈川県	大津諏訪神社	1	神奈川県横須賀市大津町4-22-22
34	神奈川県	白旗神社	1	神奈川県藤沢市藤沢2-4-7
35	神奈川県	鶴岡八幡宮	2	神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-31
36	富山県	雄山神社	1	富山県中新川郡立山町岩弁寺1番地
37	石川県	菅生石部神社	1	石川県加賀市大聖寺敷地ル乙81-2
38	福井県	佐佳枝廼社	1	福井県福井市大手3丁目12番3
39	福井県	總社和田八幡宮	1	福井県福井市和田3丁目1113
40	長野県	レストハウス木曾路	1	長野県木曾郡上松町寝覚
41	静岡県	秋葉神社 森林の森公園	1	静岡県浜松市天竜区春野町領家秋葉山
42	静岡県	小國神社	1	静岡県周智郡森町一宮3956-1
43	静岡県	静岡浅間神社	2	静岡県静岡市葵区宮ヶ崎102-1
44	静岡県	三嶋大社	1	静岡県三島市大宮町2-1-5
45	静岡県	矢奈比売神社	1	静岡県磐田市見付1114-2
46	愛知県	古知野神社	1	愛知県江南市古知野町宮裏201
47	愛知県	三光稲荷神社	1	愛知県犬山市大字犬山宇古券65-18
48	愛知県	津島神社	1	愛知県津島市神明町1番地
49	愛知県	白山神社	1	愛知県名古屋市中区小幡中1-13-8
50	愛知県	若宮八幡宮	1	愛知県名古屋市中区栄3丁目35-30
51	三重県	伊勢神宮崇敬会	1	三重県伊勢市宇治仲之切町152
52	滋賀県	多賀大社	1	滋賀県犬上郡多賀町多賀604
53	大阪府	阿部野神社	1	大阪府大阪市阿倍野区北畠3-7-20
54	大阪府	石切劔箭神社	3	大阪府東大阪市東石切1-1-1
55	大阪府	大阪天満宮	1	大阪府北区天神橋2-1-8
56	大阪府	大和神社	1	大阪府寝屋川市大和町23-1
57	大阪府	岸城神社	1	大阪府岸和田市岸城町11-30
58	大阪府	菅田八幡宮	1	大阪府羽曳野市菅田3-2-8
59	大阪府	四條畷神社	1	大阪府四條畷市南野2丁目18番1号
60	大阪府	豊中稲荷神社	1	大阪府豊中市本町7-3-7
61	大阪府	服部天神宮	2	大阪府豊中市服部元町1-2-17
62	大阪府	福島天満宮	1	大阪府大阪市福島区福島2丁目8番1号
63	鳥取県	粟嶋神社	1	鳥取県米子市彦名町1404
64	鳥根県	須佐神社	1	鳥根県出雲市佐田町須佐730
65	岡山県	備前之國一宮吉備津彦神社	1	岡山県岡山市北区一宮1043
66	岡山県	備中國總社	1	岡山県総社市二丁目18番1号
67	広島県	沼名前神社	1	広島県福山市鞆町後地1225
68	広島県	備後一宮 吉備津神社	1	広島県福山市親町町内400
69	愛媛県	石鎚神社	1	愛媛県西条市西田甲797
70	沖縄県	普天満宮	1	沖縄県宜野湾市普天間1-27-10
			81	

5、検定事業（神社検定）（その他事業5）

①第3回神社検定（神道文化検定）開催

日本文化の興隆を図る事業として開催している、神道文化検定（神社検定）を神社本庁監修、一般財団法人神道文化会、株式会社扶桑社の協力で、昨年の第2回に引き続き平成26年6月29日に第3回を開催し、全国で4,242名の申し込みを得た。新設となった壹級は幅広い神道への理解を求め、全て公式テキストからの出題とし、弐級は、昨年と引き続き、遷宮の教化を図る目的で「遷宮と神社」として実施し、参級は、「祭り

と神社の基礎」と新たなテーマを設定した。
同検定は日本人が元来有する伝統的精神を掘り起こし、日本文化の素晴らしさを再認識させる教化事業として、今後も継続開催する予定である。

- 《主催》日本文化興隆財団
- 《監修》神社本庁
- 《協力》神道文化会、扶桑社、日本メディアミックス
- 《日程》平成26年6月29日（日）
- 《会場》全国49会場
- 《申込者》4,242名
- 《受検者》3,375名
- 《認定者》壹級164名
 弐級233名
 参級998名

②神社検定特別セミナー

神社への理解をさらに深めてもらうことを目的とした特別セミナーを京都・鎌倉で開催した。

- 《事業企画》日本文化興隆財団・神道文化会
- 《事業協力》石清水八幡宮、春日大社、鶴岡八幡宮
- 《事業内容》**京都コース**（京都駅集合解散）
参加費：12,000円（合格者）・15,000円（一般）
行程：石清水八幡宮正式参拝・田中恆清宮司講話、春日大社正式参拝、
 花山院弘匡宮司講話、
実施日程：平成25年12月1日（日）
参加者数：104名

鎌倉コース（鶴岡八幡宮集合解散）

- 参加費：6,000円（合格者）・7,500円（一般）
- 行程：鶴岡八幡宮正式参拝・吉田茂穂宮司講話、境内案内
- 実施日程：平成25年10月27日（日）
- 参加者数：71名

③神社検定教養講座

○見て触れて知る神社のいろは特別セミナー（合格者限定）

國學院大學祭式教室を使用し、テキストでは知ることが出来ない神職の装束、祭具、神社の調度品の基礎知識を実際に見て、触れて学ぶ神社有職基礎講座を開催した。

- 《主催》日本文化興隆財団
- 《共催》神道文化会
- 《協力》國學院大學
- 《会場》國學院大學祭式教室
- 《講師》茂木貞純氏（國學院大學神道文化学部教授）

《内 容》手水の使い方・拝礼作法・玉串と服装・正座と敬礼・修祓とお供え・祝詞
と玉串拝礼・神職の持ち物・冠、笏、浅沓など
《参加費》5,000円（合格者限定料金）
《開催日》①平成25年12月8日（日）
②平成26年3月26日（日）
《参加者数》①69名 ②42名

○紀伊国一之宮丹生都比賣神社―空海に高野山を授けた神―
37年ぶりの本殿正遷宮を控え、平成の御造営が進む世界遺産の同神社にて、神仏習合
の歴史と神道精神が仏教にどのように取り入れられたかを学ぶ教養講座を開催した。

《主 催》日本文化興隆財団
《協 力》丹生都比賣神社
《会 場》丹生都比賣神社（和歌山県伊都郡かつらぎ町上天野230）及び高野山
《内 容》正式参拝・特別拝観・丹生晃市宮司講話・高野山参拝
《参加費》12,000円（合格者）・15,000円（一般）
《開催日》平成25年12月15日（日）
《参加者数》27名

④公式テキスト早わかり講座

公式テキストの学び方を通して、神道、神社の基礎知識を深めてもらうことを目的に各
級毎にセミナーを開催し、延べ約129名が受講した。

《主 催》日本文化興隆財団
《会 場》日本文化興隆財団研修室
《開催日》【壹級】DVDの販売のみ（講座開設無し）
【弐級】計2回開催※講義内容は全共通
平成26年4月30日（水）21名
平成26年5月25日（木）67名
【参級】計2回開催※講義内容は全共通
平成26年4月24日（木）7名
平成26年5月11日（日）34名
《講 師》藤本頼生氏（國學院大学神道文化学部准教授）
《受講費》各3,600円

⑤公式テキスト早わかり講座 DVD

遠方等の理由で同講座を受講できない方のために同講座を収録したDVD（2枚組）を
制作、販売した。

《壹級用》講 師：茂木貞純氏（國學院大學神道文化学部教授）
収録時間：1時間29分×2（2枚組）
販売価格：3,500円
販売数：194枚
《弐級用》講 師：藤本頼生氏（國學院大学神道文化学部准教授）
収録時間：1時間29分・1時間12分（2枚組）
販売価格：2,500円
販売数：175枚
《参級用》講 師：藤本頼生氏（國學院大学神道文化学部准教授）
収録時間：1時間20分・1時間5分（2枚組）
販売価格：1,800円
販売数：121枚

⑥おさらい講座

東京会場（國學院大學）限定で、検定実施日に出題問題の解答と解説を行う講座を開催し、157名が受講した。

《主催》日本文化興隆財団

《開催日》平成26年6月29日（日）

《会場》國學院大學

《講師》【壹級】茂木貞純氏（國學院大學神道文化学部教授）

【貳級】藤本頼生氏（國學院大學神道文化学部准教授）

【参級】藤本頼生氏（國學院大學神道文化学部准教授）

《受講費》壹級：4,500円 貳級・参級：各3,000円

《参加者》壹級：40名 貳級：70名 参級：47名